

# 87「お～になる」フラッシュカード (印刷用)

## フラッシュカードの使い方

活動前作業 フラッシュカードを印刷し、真ん中で折っておく。

活動 ①**辞書形**を見せて、S全体で「お～になる」の形を言ってもらう。

指名してさらに答えてもらう。

②「動詞一覧表」(最終ページ)を印刷してSに渡し、ペアで練習する。

③小さい紙を配り、Tが**辞書形**を言い、Sに「お～になる」の形を書くよう指示する。

④Sに答えを聞きながら板書していき、各自確認するよう指示する。

※口頭ではミスが確認しにくいので、必ず書く時間を作ること。

※余裕があれば、以下のような活動を行ってもよい。

「動詞一覧表」を切り取って動詞のカードを作り、グループの数分用意しておく。1人がカードをひいて、出た動詞の「お～なりますか」の形で隣の人に質問し、隣の人がそれに答える。答えた人が次のカードをひいて、同様に進めるよう指示。他の人は、質問や答えの文が正しいかどうかチェックする。答えるときは自分のことだから「お～なります」を使わないことを確認しておく。

はなす

おはなしになる

かける

おかけになる

かえる

おかえりになる

あう

おあいになる

よぶ

およびになる

よむ

およみになる

すわる

おすわりになる

こたえる

おこたえになる

はいる

おはいりになる

やすむ

おやすみになる

おりる

おおりになる

かく

おかきになる

はなす	よぶ	はいる
かける	よむ	やすむ
かえる	すわる	おりる
あう	こたえる	かく